

平成23年度
ミュージアム・エデュケーター研修

博物館利用者の実態と対応

徳川美術館 企画情報部 加藤啓子
2011年9月26日 東京国立博物館



徳川美術館

1935年(昭和10年)に、尾張徳川家19代義親の寄贈にもとづき開館。

徳川家康の遺品を中心に、尾張徳川家歴代の遺愛品やその家族が実際に使用した大名道具を収蔵し、展示公開している。

徳川美術館 企画情報活動の目的

尾張徳川家の大名道具
から大名文化や日本の
文化を広く紹介する。

企画情報部スタッフ
5名(うち学芸員3名)



さまざまなニーズ・場面に対応

大名文化



ボランティア・地域や他館と関わりながら

一般

団体

お年寄り

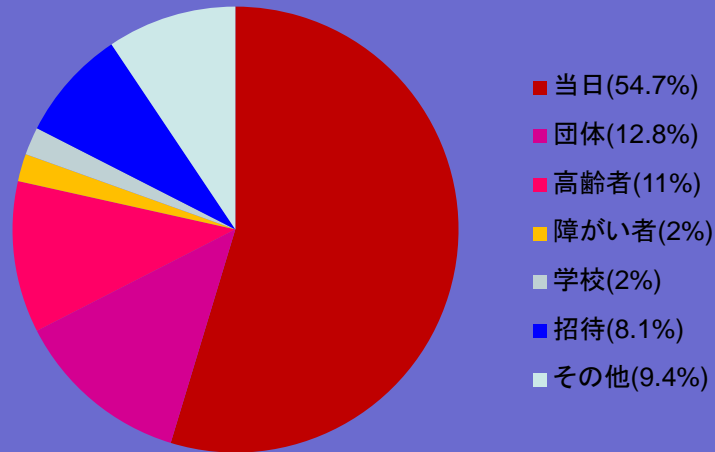
小中高生

大学生

留学生

障がい者

入館者種別



教育普及の歩み 1

【一般向け】

土曜講座・能楽講座・古文書入門講座・
記念講演会・名曲講座・定期研究発表会・
国内外見学会



教育普及のあゆみ 2

【小中学生対象】

1991年(平成3年) 夏休み子ども教室開始以後毎年



教育普及のあゆみ 3

【小中学生対象】

2002年(平成14年) 土曜子ども教室開始

徳川美術館
土曜子ども教室

この日は、徳川幕府の歴史を学ぶだけでなく、徳川幕府の文化や芸術を体験することができます。また、徳川幕府の歴史を学ぶだけでなく、徳川幕府の文化や芸術を体験することができます。

徳川美術館
〒400-0292 徳川幕府博物館 徳川幕府
〒400-0292 徳川幕府博物館 徳川幕府
〒400-0292 徳川幕府博物館 徳川幕府

教育普及のあゆみ 4

【小中学生対象】

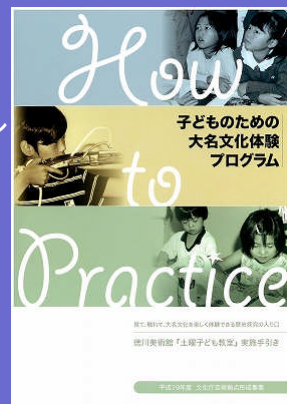
2003年(平成15年)より出張教室や団体、
職場体験の受入



教育普及のあゆみ 5

【小中学生対象】

2002年(平成14年)→
子ども向けホームページよしなお君からの手紙(メール)
2003年(平成15年)→体験教室DVD
2008年(平成19年)→手引書
2010年(平成21年)→視聴覚障がい者
鑑賞入マニュアル



教育普及のあゆみ 6

平成19年～

「小・中学校教諭を対象とした 伝統文化体験プログラムセミナー」

私立美術館である当館では、小中生を対象にした「土曜子ども教室」や「団体の受入」「出張教室」を実施していることが学校関係者に知られていない。そこで、小中学校の先生方に周知するために実施。

毎年、7月最終週に実施。 中学校の部：午前、小学校の部：午後
長篠合戦図屏風の解説と火縄銃、刀の解体・組立を小・中学校教諭に紹介、実際に火縄銃や刀の解体・組立の体験を実施。

平成21年～ 視聴覚障がい者への対応

徳川美術館 ボランティアの会

昭和62年、新館開館から運営、24年。

23年度301名登録、そのうち51名が1期生。

基本は監視業務。解説員32名、受付対応48名

図書整理5名、生け花、題字。

その他、子ども向けプログラムの対応

今後の課題と展開

①プログラム内容および教材の熟成

②手法の変遷(他館との交流)

- ・愛知県博物館協会「子どもと博物館研究会」平成11年～、
現在は「ミュージアムエデュケーション研究会」
- ・全国美術館会議
- ・美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研究

③来館者・参加者の反応→対応

④次への引き継ぎ